

一般会計の主な事業(令和7年度清水町一般会計補正予算第4号 政策的予算)

【健やかで笑顔あふれるまち】

	款	事業名	事業費	財源内訳				事業内容	(単位:千円)
				国庫・道 支出金	町債	その他	一般財源		
1	民生費	敬老会事業	399				399	紅白鯉頭の増量に伴い、単価を580円から1,000円へ増額	
2	新規 民生費	敬老祝金支給事業	16,493			16,400	93	満88歳(30,000円)及び満100歳(100,000円)の方へ敬老祝金を贈呈 ※R7年度のみ89～99歳(30,000円)、101歳以上(100,000円)の方へも贈呈	
3	民生費	介護人材育成確保事業	300				300	町内介護サービス事業所の人材育成、確保を目的に研修等の経費1/2を1事業所10万円を限度に助成	
4	新規 民生費	地域福祉人材育成確保事業	300				300	町内障害福祉サービス事業所の人材育成、確保を目的に研修等の経費1/2を1事業所10万円を限度に助成	
5	新規 民生費	定額減税補足給付金(不足額給付)事業	25,171	25,171				R6年分所得税確定に伴い、R6年度実施した調整給付の不足額を支給(750人程度)	

【学びから生きる力を育むまち】

	款	事業名	事業費	財源内訳				事業内容	(単位:千円)
				国庫・道 支出金	町債	その他	一般財源		
1	教育費	教育費保護者負担軽減事業	1,142				1,142	スキー授業費用無料化 清水小・御影小の6年生はサホロリゾートスキー場 清水中・御影中の1～3年生は新得山スキー場	
2	新規 教育費	清水高校振興会助成事業(遠距離通学費助成)	7,300			7,300		高校の魅力向上と関口対策として、町外から公共交通機関で通う生徒保護者の負担軽減を図るため、通学費の一部を助成 ※JR利用者 50,000円(50人)、バス利用者100,000円(48人)	
3	教育費	スケートリンク設置管理事業	1,300				1,300	清水小学校 600,000円、御影小学校 700,000円	

【快適で安らぎを感じられる住みよいまち】

	款	事業名	事業費	財源内訳				事業内容	(単位:千円)
				国庫・道支出金	町債	その他	一般財源		
1	土木費	河川補修事業	1,980			1,900	80	澄川河道土砂上げ工事	
2	土木費	公園柵設置・改修事業	10,505			10,500	5	松葉公園、御影公園に柵を新設(松葉 79.8m、御影 140.8m) 清水公園の柵(ログトイレ前防護柵)を改修(39.6m)	

【多様なつながりで協働するまち】

	款	事業名	事業費	財源内訳				事業内容	(単位:千円)
				国庫・道支出金	町債	その他	一般財源		
1	新規 総務費	職員研修事業(先進地視察研修)	1,800				1,800	職員の資質向上と行政の活性化を図るため、行政運営やまちづくりの先進地自治体等を訪問旅費	
2	新規 総務費	まちづくりプロモーション事業	330				330	まちづくりに係る提案書のデザイン料	
3	新規 総務費	認知度等調査業務委託事業	5,500				5,500	地域PR・ブランド戦略の立案に向けた「十勝」「清水町」の認知度全国web調査(1,000人対象)業務	
4	総務費	秋まつり実行委員会補助事業	302				302	清水地区秋まつり実行委員会補助金の増額	

事業シート（概要説明書）									
予算事業名		敬老祝金支給事業				事業開始年度		令和7年度	
上位施策事業名		総合計画（2編1章 健康寿命の延伸）				担当局・部名		保健福祉課	
根拠法令等		清水町敬老祝金支給要綱				担当課・係名		福祉係	
実施の背景		「長生きするほど嬉しい人が増えるまち 清水町」として、敬老祝金という形により、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者への敬意を表すことで、その長寿を祝うとともに、高齢者の福祉増進に寄与すること、そして町民の敬老思想の醸成を図ることができることから、本事業を実施する。							
目的 （何をどうしたいか）		清水町に住所を有し、満88歳及び満100歳を迎える高齢者に清水町敬老祝金を贈呈し、敬老と長寿を祝う。 ※令和7年度からの新規事業のため、令和7年度に限り、88歳以上の高齢者全員に敬老祝金を贈呈する。							
事業概要	対 象 （誰・何を対象に）	9月1日現在、本町に住所を有する者で、引き続き1年以上町内に居住し、当該年度に①～④の年齢に達する者とする。 ①満88歳（米寿）の者 ②満100歳（百寿）の者 ③満101歳以上の者 ④満89歳～満99歳の者 ※③と④については、実施初年度（令和7年度）のみ対象						対象者数	
								510	人
	実施方法	■直接実施							
		□業務委託 又は □指定管理 （委託先又は指定管理者： ）							
		□補助金（補助先： 実施主体： ）							
		□貸付（貸付先： ） □その他（ ）							
	事業内容 （手段、手法など） （令和7年度）	事業内容		事業費		活動指標			
満88歳（米寿）の者 30,000円の祝金		2,850 千円		贈呈人数					
満100歳（米寿）の者 100,000円の祝金		500 千円		贈呈人数					
満101歳以上の者 100,000円の祝金 ※令和7年度のみ支給		1,000 千円		贈呈人数					
満89歳から満99歳の者 30,000円の祝金 ※令和7年度のみ支給		12,000 千円		贈呈人数					
関連事業 （同一目的事業等）	老人の日記念事業（国） 事業内容：国より祝状及び記念品（銀杯、状筒）を贈呈								
コスト	令和7年度（予算）		令和6年度（決算見込）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）		
	事業費合計 16,493 千円		0 千円		0 千円		0 千円		
	事業費内訳 （7年度予算）		【需用費（事務事業用消耗品費）】対象者封筒押印用スタンプ 5千円 【需用費（印刷製本費）】振込口座確認返信用封筒 10千円 【役務費（郵便料等）】振込口座確認返信用郵便料 70千円 【役務費（振込口座手数料）】口座振込手数料 58千円 【扶助費（敬老祝金）】祝金（88歳） 2,850千円 祝金（100歳） 500千円 祝金（101歳以上） 1,000千円 祝金（89～99歳） 12,000千円						
財源内訳	国道支出金		千円		千円		千円		千円
	国道支出金の内容								
	地方債		千円		千円		千円		千円
	その他特財		16,400 千円		千円		千円		千円
	その他特財の内容		老人福祉基金繰入金						
	一般財源		93 千円		0 千円		0 千円		0 千円
財源合計		16,493 千円		0 千円		0 千円		0 千円	

事業シート（概要説明書）											
予算事業名		定額減税補足給付金（不足額給付）事業				事業開始年度		令和7年度			
上位施策事業名		総合計画（2編4章 安心のある生活への支援）				担当局・部名		保健福祉課			
根拠法令等						担当課・係名		福祉係			
実施の背景		国において、令和6年度税制改正と併せて、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、「低所得者支援及び定額減税を補足する給付」を実施する方針が令和5年12月14日に決定され、このうち、定額減税しきれないと見込まれる所得水準の方への給付（調整給付）については、令和6年度に当初調整給付として推計額等を用いた算定による給付を実施。その後、令和6年所得税及び定額減税の確定に伴う不足分の支給を目的として、国において当該給付に対応するための令和6年度補正予算が令和6年12月17日に成立した。									
目的 （何をどうしたいのか）		物価高騰の負担感をやわらげ、安心した生活に繋げるため、定額減税の恩恵を受けきれない者に対し令和6年度当初調整給付の不足額を支給する。									
事業概要	対象 （誰・何を対象に）	令和6年度当初調整給付の支給額が不足する者						対象者数			
								750	人		
	実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者： ） ☐ 補助金（補助先： 実施主体： ） ☐ 貸付（貸付先： ） ☐ その他（ ）									
		事業内容 （手段、手法など） （令和7年度）	事業内容（箇条書き）		事業費		活動指標				
			事務経費		3,171	千円	給付人数				
	関連事業 （同一目的事業等）	低所得者支援給付金 （定額減税補足給付金）		22,000	千円	給付人数					
定額減税補足給付金（調整給付）給付金事業											
コスト	事業費	令和7年度（予算）		令和6年度（決算見込）		令和5年度（決算）		令和4年度（決算）			
		事業費合計		25,171	千円	0	千円	0	千円	0	千円
		事業費内訳 （7年度予算）		【職員手当等】 ・ 時間外勤務手当（正職員） 720千円 【需用費】 ・ 事務事業用消耗品（印刷用紙等） 221千円 ・ 印刷製本（封筒等） 39千円 【役務費】 ・ 郵便料 267千円 ・ 口座振込手数料 142千円 【委託料】 ・ システム改修業務委託料 1,782千円 【負担金、補助及び交付金】 ・ 定額減税補足給付金（不足額給付） 22,000千円							
財源 内訳	国道支出金	25,171 千円									
		国道支出金の内容		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金							
	地方債										
	その他特財										
		その他特財の内容									
一般財源	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円				
財源合計	25,171 千円		0 千円		0 千円		0 千円				

事業シート（概要説明書）										
予算事業名		清水高校振興会助成事業（遠距離通学費助成）				事業開始年度		令和7年度		
上位施策事業名		総合計画（3編2章 高校振興の充実）				担当局・部名		教育委員会		
根拠法令等		清水町補助金等交付規則				担当課・係名		学校教育課総務係		
実施の背景		高校授業料の無償化が拡充され、かつ大規模校による部活動選択先の充実により私立高校への人気が高まりつつある状況において、清水高校入学生が大幅に減少してしまい更なる支援を図る必要性が生じた。 また物価上昇に伴う通学バス・JR運賃の値上げが清水高校に通う生徒保護者の大きな負担となっており、遠距離通学費の助成が求められている。								
目的 （何をどうしたいのか）		これまでは町内（御影地区）から通学する生徒には支援を行ってきたが、清水高校の更なる魅力向上と間口対策として、通学費の一部を定額補助することで、町外から公共交通機関で通う生徒保護者への負担軽減を図る。								
事業概要	対象 （誰・何を対象に）	町外から公共交通機関で通学する清水高校生徒					対象者数		98	人
	実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 又は ☐ 指定管理（委託先又は指定管理者： ） ☒ 補助金（補助先：清水高校振興会 実施主体： ） ☐ 貸付（貸付先： ） ☐ その他（ ）								
		事業内容 （手段、手法など） （令和7年度）	事業内容		事業費		活動指標			
			遠距離通学費補助（町外者） ・JR利用者（50人）50,000円助成 ・バス利用者（48人）100,000円助成		7,300 千円		補助利用者			
							千円			
	関連事業 （同一目的事業等）									
	コスト	事業費	令和7年度（予算）		うち6月補正額		令和6年度（決算見込）			
事業費合計			17,200 千円	7,300 千円	8,633 千円			千円		
財源内訳	事業費内訳 （7年度予算）	・タブレット購入助成		1,200千円（30,000円/人）						
		・ICT活用支援、資格検定補助ほか		4,210千円						
		・高校広報事業		2,190千円						
		・通学費補助（御影地区）		2,300千円						
		・遠距離通学費補助（町外者）		7,300千円 ※6月追加補正分						
		国道支出金		千円	千円	千円	千円	千円		
		国道支出金の内容								
財源内訳	地方債	17,200 千円		7,300 千円		8,600 千円		千円		
		その他特財		7,300 千円		8,600 千円		千円		
		その他特財の内容		いきいきふるさとづくり基金繰入金						
		一般財源		0 千円	0 千円	33 千円	千円			
		財源合計		17,200 千円	7,300 千円	8,633 千円	千円			